

第6回鴻巣市総合振興計画審議会次第

日 時 令和4年1月13日（木）
午後1時30分～
場 所 市役所本庁舎大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- (1) 第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画（案）について
- ・パブリックコメントの実施結果について
 - ・施策別計画について
 - ・答申（案）について

4 その他

5 閉 会

施策別計画について（第 5 回審議会からの主な修正内容）

施策	修正内容（値はR 8 目標値）
1-1-2	前) 育てにくさを感じている方の中で、対処できる～ 後) 子育てに悩んだときに解決方法を知っている～
1-2	基本事業記載方法の統一
1-3-2	放課後に子どもが安全・安心に過ごせていると思う小学生保護者の割合 前) 82.7% → 後) 90.0%
2-1-6	前) 1人あたり医療費の増加率 4.32% 後) 1人あたり医療費 376,115 円
2-3-5	前) 1人あたり医療費の増加率 1.93% 後) 1人あたり医療費 804,165 円
3-1-1	指定避難所を知っている市民の割合 前) 55.8% → 後) 84.3% 平均実践項目数 8.4 個
3-1-2	自主防災組織率 前) 66.5% → 後) 84.3%
3-1-3	備蓄計画の充足率 100%
3-1-4	災害情報取得ツールを知っている市民の割合 84.3%
3-2-1	幹線道路の歩道整備率を削除
3-2-2	夜道を安心して歩けると思う市民の割合を削除
3-2-4	通学路等における安全対策実施箇所に対する整備割合を追加
3-3-3	ごみの適正処理を追加
3-6-2	公共下水道、農業集落排水の未接続世帯数を削除
3-6-4	下水道の営業収支比率を削除
4-2-1	生活道路改良延長を計画期間累計に変更
4-4-2	駅の利便性に関する満足度 前) 79.0% → 後) 80.0%
4-5	花や緑に親しめる環境があると思う市民の割合 前) 80.0% → 後) 90.0%
5-1	市内事業所数 前) 2,153 件 → 後) 2,195 件
5-1-4	埼玉県多様な働き方実践企業数 前) 73 企業 → 後) 63 企業
5-2-2	新たに圃場整備された面積 前) 72.9ha → 後) 89.2ha
5-2-3	農産物や花を市内店舗や直売所で購入している市民の割合 前) 80.0% → 後) 85.0%
5-3	まちなぎわいが創出されていると思う市民の割合 65.0%
5-3-1	マスコミでの露出件数 前) 25 件 → 後) 35 件
	KONOSTagram 観光大使年間発信件数 1,500 回
	連携・協働活動を実施する他自治体数 15 団体
6-3-2	広報紙の閲読率 前) 87.5% → 後) 90.0% (WEB 版含む)
6-3-5	SNS アカウント登録者数 前) 15,000 人 → 後) 30,000 人
6-3-5	ふるさと納税寄附者のリピート率 前) 32.0% → 後) 25.0%
6-4-6	資質が向上していると思う職員の割合を削除
	前) 年次有給休暇取得 5 日未満及び公務災害該当職員数 後) 年次有給休暇平均取得日数

答申（案）について

本審議会は、令和3年6月22日に「第6次鴻巣市総合振興計画基本構想一部改定（案）」及び「後期基本計画（案）」について諮問を受け、令和3年8月19日に「基本構想一部改定（案）」について答申を行いました。そして、これまでの政策展開の方向に係る議論に引き続き、政策実現の手段である28施策について、分科会で検討を行うなど慎重に審議を重ねてまいりました。

後期基本計画（案）に示された施策別計画は、各政策の背景と課題を反映しており、各施策に設定された成果指標や基本事業は、前期基本計画の達成状況、グリーンやデジタルなどの社会情勢の変化を踏まえ、鴻巣市が克服すべき課題に取り組んでいく姿勢が読み取れる内容であるといえます。

また、出産、子育てから教育、文化に関する施策の一体的な推進、花や緑、コウノトリといった豊かな自然環境の保全と活用は、次代を担う世代を育み、特色を生かした魅力あふれるまちへの発展につながるものと考えます。

これらのことから、後期基本計画（案）は、鴻巣市の将来都市像「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」の実現に向けて、適切な計画であると認めます。

計画策定後は、職員等への計画の普及に努めるとともに、市民の主体的な参加と協働を図りながら、共に知恵と力を出し合い、市民一人一人が輝き続けられる持続可能なまちづくりに取り組まれることを要望します。

最後に、各委員から今後のまちづくりについて、諸般にわたる意見、要望がありましたので別紙のとおり付記します。

計画全体について

- ・施策の内容や目標設定の考え方について、具体的でわかりやすい表現にするとともに、市民に対するていねいな説明と市民の目線に立った取組を進められたい。
- ・事業の推進にあたっては、鴻巣市の地勢等を勘案し広域的な視点で取り組むほか、市民や事業者、NPO法人、近隣自治体等との連携・協働による取組を推進されたい。
- ・総合振興計画を着実に推進していくために、計画の進行管理を適切に実施し、積極的な情報公開に努められたい。

施策 1-1 出産・子育て支援の充実

近年の人口動態を踏まえ、成果指標を合計特殊出生率から年少人口に変更することについては妥当である。子育て支援については前期目標の達成度もおおむね良好である一方、結婚や出産の希望をかなえるための支援やサポートの充実を図られたい。

施策 1-3 青少年の健全育成

放課後児童クラブや放課後子ども教室のほか、ヤングケアラーや発達段階における気になる子への対応などの幅広い事項において、子育てと学校教育、さらに地域の連携強化を図り、一人一人の子どもに寄り添ったきめ細やかな支援に努められたい。

また、中学生向けの事業として、地域の人材を指導者等として様々な分野で活用するなど、地域とのつながりをつくり、教員の負担軽減にもつながる取組を検討されたい。

施策 2-1 健康づくりの推進

感染症対策では、市民の危機意識と取組の継続性が重要であることから、市民への啓発や適切な情報提供を引き続き実践されたい。

また、市民の心身の健康維持・増進に向けて積極的に事業を展開するとともに、食育と農産物の生産を関連付け、食を通じた政策間連携を推進されたい。

施策 3-1 防災・減災対策の推進

激甚化する自然災害に対する市民の危機意識は高まっており、市民が安心して生活できるよう、災害の危険を知らせる情報伝達ツールの啓発や自主防災組織の充実、避難所等の整備、広域避難体制の構築など、自助・共助・公助の取組を推進し、市民に周知されたい。

施策 3-3 循環型社会・脱炭素社会の形成

ゼロカーボン（脱炭素社会の実現）の推進は、様々な分野に関係することから、市民一人一人の取組はもちろん、事業者や行政も一体となって取り組むことが重要であるとの意識醸成につながる目標を検討されたい。

施策 4-5 花と緑あふれる空間の創出

地域の身近な公園の充実を図り、公園に対する満足度を高めるためには、市民協働の取組が重要である。若い世代が生活環境の保全活動に自主的に参加する意識の醸成を図るほか、小中学生向けや高齢者向けの運動器具の充実を検討されたい。

コウノトリの野生復帰に向けては、鴻巣市だけではなく近隣自治体と豊かな自然環境の重要性について共通認識を図り、連携した保全活動に取り組まされたい。

施策 5-3 観光資源の活用と交流の促進

今後は観光入込客数をもって観光施策の成果とするのではなく、イベントや観光・交流施設の満足度を高め、1年を通じて繰り返し来てもらえるような関係人口の創出・拡大を図られたい。

また、花まつりや花火大会等の既存イベントを様々な施策やキーワードと関連付け、花と緑のまちとして波及効果の高いイベントや事業を展開されたい。

施策 6-1 人権尊重の推進

政策 6 に移動し、すべての施策の根底として位置づけたことから、市民の更なる意識醸成に向けて、学校での人権教育にも引き続き取り組まされたい。

また、鴻巣市はパートナーシップ宣誓制度や性的マイノリティに関する悩み相談など先進的な取組を進めており、積極的な情報発信に努められたい。

施策 6-3 市民協働とシティプロモーションの推進

鴻巣市の観光資源や特産品、地域の魅力、各施策における取組内容が効果的に伝わるよう積極的な広報に努めるとともに、市民の地域への愛着醸成を図る取組を進められたい。

施策 6-4 効率的な行財政運営の推進

行政運営や行政サービスにおけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進では、市民の利便性向上や財政効果など市民への還元を見える化できるよう努められたい。